将来を担う青少年、この健やかな成長を願って

青少年問題を考える

非行はエスカレートしている

「子供たちが、心身ともに健全に育ってほしい。」と思うのは、すべての親の願いです。

ところが、親の願いとは裏腹にこれが人間のする事であろうかというような非人間的な非行が、最近大都市だけでなく、次第に地方の小都市町村部を問わず続発するようになってきました。

▶純真な子どもたちの顔
大人の責任で正しく伸ばそう

因みに、県警察本部防犯少年課のまとめによれば、昭和五十五年中の刑法犯少年の総数は四、五四六人で、前年に比べ二〇・六%と大幅に増加し、戦後最高の記録となっているだけでなく、更に成人を含む全刑法犯に占める少年の比率が五三・四%と過半数を占めるに至り、これも戦後最高となっています。

また、非行の内容も従来からの遊び型非行の外、校内暴力事件や暴走族による不法事犯の激増等によって、ここ数年横ばい状態にあった凶悪犯・粗暴犯までが大幅に増加するなど、悪質、粗暴化の兆がみられ、少年非行は質、量ともに極めて憂慮される状況にあります。

この外、非行少年には該当しないが、正しい生活態度からはずれた行為をした少年、いわゆる不良行為少年として補導された者は実に一万六千人を超え、その行為の主なものは喫煙、深夜はいかい、暴走行為、不良交友、怠学、不健全娯楽等となっています。しかしこれ等の行為は何等かのきっかけで犯罪につながるおそれが十分あることから、安易に見過してはならない行為であります。

以上は県全体の実態ですが、岩室村の少年達も、これと全然無関係ではありません。巻警察署のまとめでは、昭和五十五年中の岩室村の刑法犯少年は十五人不良行為少年は八四人となっていて、その内容も県と同じ傾向であります。

事実この数は、村全体の少年数からいえば、ほんの一握りの人数かもしれないが、巻署管内の他の町村に比較すれば決して少ない数ではなく、むしろ上位であることを認識し、真剣に防止対策を講ずる必要があります。

このままで良い子が育つのだろうか

では、このような青少年の問題行為等の生ずる要因は何であろうか、これについては様々なことがあげられています。即ち、

○家庭における教育機能の低下。
○社会環境の悪化。
○地域連帯感の稀薄化。

などでありますが、その中で

●親の権威の喪失
●親の子供に対する過度の許容性

（子供の言いなりになること）

そういった家庭教育機能の低下が最大の要因と考えられています。

一応、経済的には豊かになった家庭につつまれ、しかも前記のような好ましくない環境の中で、子供たちはどのように育っているでしょうか、一般的には次のような点が指摘されています。

○感心すること。
　○率直でこだわりなく発言する
　○理論的・合理的である
　○自主的・自律的である
　○積極的・行動的である
　○批判力が強い

○問題と思われること。
　○自己中心的・利己的である
　○忍耐力・気力・根性を欠く
　○打算的である
　○せつな的・衝動的である
　○享楽的・遊び傾向が強い
　○苦難や勤労をきらう
　○金や物のありがたさを知らない

などがあげられます。

長所と思われる点は、これからの新しい子供の良い面がみられ、一層これを助長することが大切でありますが、問題としてあげられる事柄の中にとかく問題行動につながる要素も多分にあり、これからしっかり考え対処していかなければならない大切な問題が多いことがわかります。

新潟敬和学園高校長太田俊雄先生の「日本の将来を憂える」の論文の中で次のように言っています。

先生はまず、西欧人の日本の教育特に家庭教育に対しての彼等の言葉を次のように引用しています。

●戦前の日本の家庭教育のすばらしさを彼等は「家庭教育のお手本を見ようと思ったら、まず日本に行け」と……

しかし、戦後日本を訪れた彼等は

●「お手本なんていうものではない。日本人は、家庭で幼な子の時から子供を甘やかしてダメにしてしまっている」と、

更に彼等は

●「しつけもしないで、こんな育て方をしていたら、もう十年、十五年先には、子供は親の怠慢に対して、キット何かの形でツケを返してくるでしょうね」と

そして先生は、日本全国で頻発している諸々の青少年非行は、子供がそのツケを返しているのだと述べられ、更に、親がまずその状況から脱出して、権威を回復し、厳しさと愛のしつけを実行することから、子供の人格形成に取り組む以外に、子供にもまた日本にもその未来に希望はない。と結び、これは杞憂であろうかとしていますが、考えさせられる問題です。

とにかく「ぬるま湯」の中にどっぷりとつかり、子供を甘やかし子供を放任し、何等の強制・制限のない「許容社会」の中で果して望ましい子供は育つでしょうか。

村ぐるみで子育てを考えよう

今こそ、親・教師の権威を回復し、子育ての基本であるからだとこころを厳しく鍛え育てあげ、真に次代を背負うにふさわしい「強くたくましい子」の育成をはかるとともに、非行の要因となっている環境の健全化を地域ぐるみ、村ぐるみ、総力をあげて取り組み、すべて、安易で低い方向へ流れやすい世の常をどうやって食い止め賢い子育ての歯車を回すかをしっかりと考えねばなりません。

青少年育成村民会議の設立

その方法としての具体的対策の策定、或は、活動の推進の母体としての組織「岩室村青少年育成村民会議」を設立いたしました。

しかし、会議の構成員だけでは十分な活動は勿論困難で、活動の輪が地域・村全体に広がってこそ大きな成果が期されます。村民のご協力を切にお願い申し上げます。

助役に竹内桜栄氏が就任

去る7月18日開催された臨時村議会で，欠員となっていた村の助役に竹内桜栄さんが承認され，正式に就任しました。
竹内助役には，これから村行政の推進役として，あらゆる分野で尽力いただくことになります。
就任にあたっての抱負を紹介します。

金子村長のご推挽により、去る七月十八日開催された臨時村議会において、選任のご同意をいただき、同日付をもって、図らずも私は岩室村の助役に就任いたしました。

これは偏に、議会議員をはじめ村民各位の深いご理解と、温いご支援の賜にほかならず、まことに光栄の極みでありまして、感謝と感激で一杯でございます。

もとより浅学非才、微力者の私でございます。しかも、商業畑一筋に半生を過してきた私にとっては、行政の執行側に入ることは、すべて未知の分野であると申上げても過言ではありません。言いようのない不安と、身に余る責任の重さを、ひしひしと痛感いたしている次第であります。

今わが国は、国際社会の中で極めて厳しい立場におかれ、内にあっては、経済の安定・行政改革等どうしても乗り越えねばならない難題が山積しております。地方もまた例外ではあり得ず、わが岩室村も非常に困難な条件下にあって住みよいふるさとづくりのため、各方面において懸命な努力が続けられていることは、私が申上げるまでもありません。

いたらぬ私ではありますが、助役に選任された以上は、与えられた大役をしっかりと受け止めて、金子村長が基本的姿勢とされている「調和のとれた村政」住民の「参加と合意」をモットーに、清潔な村勢繁栄のために、村長の補佐役として、精一杯の努力をする覚悟であります。

何卒、皆様のご指導ご鞭撻ご協力を賜りますよう、心からお願い申上げまして、就任のごあいさつといたします。

八月十五日 全国戦没者追悼式

全国の戦没者のごめい福を祈り、正午サイレン（一分間）を合図に黙とうしましょう。

お知らせ、～東北電力より～

8月28日　[illegible]
[illegible]
期　間　8月28日まで
場　所　役場総務課

夏休み　チビッ子工作教室

▷日　時　第1回目　8月4日
　　第2回目　8月20日
　　いずれも午前9時～11時30分
▷内　容　竹トンボ，木の実でっぽうなど
▷対　象　小学生　先着80名
▷持ち物　工作用ナイフ（材料は用意します）
▷申し込み　父兄を通じて公民館へ（TEL2-4444）

おもしろいよ　子ども映写会

おもしろい映画がいっぱい　お楽しみに

▷日　時　8月11日（火）午前9時～11時30分
▷会　場　公民館講堂
▷内　容　銀河鉄道999，あしたの空は青い空，豆象武勇伝　走れメロス

出席ください　成人式

今年の成人式は，記念講演にかえて映画を観賞することに決まりました。おそろいでご出席ください。

▷期　日　8月15日（土）午前9時10分～
▷式　場　公民館講堂
▷日　程　○式典　○記念撮影
　　○映写会（エデンの東）